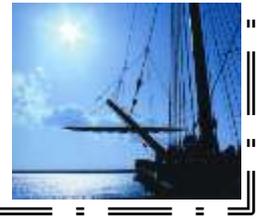


# 三中進路通信 No.7



～自分らしい進路を考えていこう～ 2022/6/13

## 『14歳の君へ～自分の進路を決めるための本』

14歳の君たちは、今どんな進路を考えていますか？きっと学校が好きな子も、嫌いな子も、中学校に行けた子も行けなかった子もいると思います。みんな考えている進路はバラバラですよ。 「適当に入れる高校いくからいいや」という人もたくさんいることでしょう。「学校行きたくないから働きます」と考えている人もいることでしょう。

私は、とある高校でスクールカウンセラーをしていたり、フリースクールというところで心理職をしていたこともあります。精神科や小児科の児童思春期病棟にいたこともあります。なので、本当にいろいろな子供たちの進路選択を一緒にお手伝いしてきました。選んだ進路でどうなったかも、もちろん見てきています。

この本には、いろいろな進路のメリットとデメリット、それから特徴が書いてあります。

## まず確認してほしいこと

「人間の良さは成績なんかじゃ決まらないよ！」と言っている人はずいぶんたくさんいることだと思います。私もだいたい同じ考えです。人間は勉強の成績だけでは決まりません。ただ、勉強の成績も自分を構築している一つであることに間違いはないですよ。成績だけでは決まらないのと同じように、性格だけでも決まりませんし、見た目だけでも決まりません。あなたも持っている全てのものがあなたを構築しているのです。この本には成績の話も出てきますが、「成績の話なんかしたくないんだよ！」と言わずに少しだけ付き合ってくれと助かります。進路を決めるにあたって色々確認してほしいことがありますので、一緒に確認していきましょう。

## 学校には通えていますか？

学校に通うことが当たり前かと思う人も多いかもしれませんが、皆さんは自分の出席率を気にしたことがありますか？

普通に行っているつもりでも3カ年皆勤を取れている人は、ほとんどいないことでしょう。1年間で出席しなければならない日は何日で、あなたは何日出席できましたか？もし、厳密に計算するのが面倒であれば、本当にだいたいでもかまいませんので何日休んだか考えてみて下さい。

また、休んだ理由は何だったのでしょうか？体調が悪かったのでしょうか？面倒で仮病を使ってしまったのでしょうか？もしくは好きなゲームの発売日だったからでしょうか？もう学校なんかには行かないと強く決めて休んだのでしょうか？これは誰かに見せたり言うものではないので、心の中で本当の理由を考えてみて下さい。

どのくらい、学校に通えているかというのは進路の基本です。体調を崩しがちな人が通学に二



時間かかる学校に通ったらどうでしょう？疲れて学校を休みがちになってしまうかもしれませんよ。

もう一つ大切なことがあります。生活リズムはきちんとしていますか？夜寝て朝起きることができていますか。

## 成績はどうでしょうか？

あなたが、大学受験を考えていて、卒業生のほとんどが有名大学へ行くような高校に進学を希望した時、成績の話は避けて通れません。成績を確認する際にも、内申だけで見るのではなく、自身の好き嫌いも十分に注意して下さい。数学と理科が嫌いなのに理数科に進んだら、高校に入ってから嫌になってしまうことでしょう。

成績とは勉強の成績だけではありません、部活の成績も考えてみて下さい。「私は陸上で府大会に出ました」とかも進路を選ぶ際の重要な要素になるので考えてみて下さい。もし、何にも特記するようなことがなかったとしても、自信を失わないで下さい。さっきも言った通り、成績なんて進路を選ぶ一つの要因でしかないのです。同じくらい大切なことが他にもっとありますからね。

## 友達との関係はどうでしたか？

友達との関係も大切な要因の一つです。すごいじめられたり、または誰かをすごいじめてしまったことはありませんか？それとか、イツメン（いつも一緒のメンバー）とは上辺の付き合いで本当に心から話せる人はいないとか、そういうことはありませんか？その他にも、一人でいるのが好きでなるべく誰かと一緒にいたくないという人もいるかもしれませんね。

漠然と聞かれてもよくわからない人は、休み時間の過ごし方を考えてみて下さい。これも、誰かと一緒にいるのがあまり好きではないのに全日制高校に行くと負担が多かったりするからです。全日制高校というのは人数も多いし、行事も多いので常に誰かと一緒にいることが要求されます。それが辛い人には少し向かない所もあるからです。

## やりたいことを明確にする

最後に確認することは、他ならないあなたの意思です。「とりあえず、入れる高校に入るよ」という方はそれでも構いません。大体、90%近くの人が全日制の高校へ進学します。こういう考えの人は自分は全日制高校に進学したいんだなと思っておいて下さい。もし、もう少し深掘りできるならば、「こんな勉強がしたいな」というのも考えておいて下さい。数学や国語などの教科の名前でも構いませんし、農業とか車の勉強とか、法律とか、そういう専門的な分野に関してでも構いません。

就職希望の人は、住む場所があるのか、月にどのくらい稼ぐ必要があるのかまで考えておいて下さい。就労の場合はそれが非常に重要になってきます。

進学希望の人は、自分が通信制高校なのか、全日制高校なのか、定時制高校なのかをはっきり考えておいて下さい。まだわからない人は、これを読み終わってからでも構いませんよ。

## ぜんにちせい しんがくきぼう 全日制高校に進学希望の人へ

ぜんにちせい  
全日制高校とは、君たちが「高校」と聞いてイメージする学校のことです。朝の8時半くらいに  
とうこう  
登校して夕方5時くらいまで授業のある学校ですね。机に座っていたら、かわるがわる先生が  
来て、担当の教科を教えてください。

この学校の特徴は、とにかく体力が必要なことです。なんせ、毎日通わなくてははいけません。  
それから同じ場所に1000人近い人が集まるので、人口密度が半端じゃありません。友達関係も広  
がるので楽しいですが、その反面トラブルもあります。しかも、高校なので通えなくなると簡単に  
りゆうねん たいがく  
留年や退学になります。毎日通えるだけの体力と、多少トラブルになったとしても意地でも学校  
に通うメンタルの強さが必要とされます。まず、先ほど確認した、中学の出席日数やお友達関係を  
振り返ってみて不安なら学校の先生に相談してみた方がいいでしょう。

おどろ  
驚かせてしまいましたが、中学校の頃に特に問題なく通えていたなら卒業することはできると  
思います。これは日本の全日制の特徴ですが、意地でも毎日通って、トラブルを起こさなければ  
そつぎょう  
卒業できないということはまずありえません。どんなにテストの点数が悪くとも通ってれば  
そつぎょう  
卒業できます。

ぜんにちせい  
全日制高校に行くことが決まったならば、次は何科を目指すかです。多くの人は普通科とよばれ  
る中学校の延長のような学校に行くのですが、普通科のほとんどは大学か専門学校・短大などに  
進学することを前提としていると思います。もし、専門学校や短大などを目指す場合は、校風や自  
分と学校の相性で決めて構いませんが、大学に進学希望する場合は、大学進学にしっかりと対応で  
きる学校に進んで下さい。高校によっては大学受験に必要な科目を開校していない場合があります。  
たとえば、理系の大学に進みたいのに、数Ⅲという科目をやらない高校に入ったら受験の時に苦勞す  
ることでしょう。

ふつうか ほかに せんもんがつか  
普通科の他には専門学科というのがあります。これは普通の教科にプラスして工業や福祉、  
のうぎょう せんもんかもく  
農業などの専門科目の勉強ができます。中学生の時点でやりたいことが明確に決まっているなら  
ば専門学科の学校もいかもしれません。例えば、工科高校などは金属加工などの専門の勉強がで  
きます。ただし、工科高校は高校を卒業したら就職することを前提とした、職業訓練校の要素  
が強いです。なので、卒業したらほぼ100%就職できますが、その点進学は難しくなってくる  
かもしれません。専門学科の学校がほとんど就職を前提としているかという、そういうわけ  
はありません。例えば、農業系の学校では農業系大学の推薦枠などを持っていたりしますので、  
いちがい しんがく  
一概に進学に弱いということではありません。しかし、学校側に確認した方がいいでしょう。

いじょう  
以上のように、全日制と一口にいってもいろいろな種類がありますので、最初に確認した項目を  
こうりよ  
考慮して自分の進むべき学校を見つけてみて下さい。

## つうしんせい しんがくきぼう 通信制高校に進学希望の人

つうしんせい  
通信制高校とは、普段はレポートをして、週に1回程度学校に通って授業を受ける、そして学  
期末にテストを受けると卒業できる学校です。全日制高校に比べると、通う日数が圧倒的に少な  
いです。週1というのもあくまで平均なので、学校によっては学期に2回くらいしか行かないと  
ころもあります。

この学校の特徴はとにかく通う日数が少なくてもいいので、人が苦手だったり体力がない人で

も安心です。しかし、その点、レポートの量が尋常じゃないので自らを律して毎日コツコツ勉強できる人でないと卒業することができません。

通信制高校は入るのは簡単な所が多いですが、卒業するのは難しいです。なぜならば、誰も自分が卒業するまでのスケジュールを管理してくれないからです。

また、私立と公立で特徴が異なります。公立はとても厳しい代わりに学校行事などがほとんど無い所が多いですが、私立は普通の全日制高校をイメージした通学コースを設けていることが多いです。ただ、全日制高校ではないので、あまり休んでも問題になりません。また、通信制高校のレポートをサポートしてくれる予備校のような、通信制サポート校という学校もあります。

## 定時制高校に進学希望の人

定時制高校とは、夕方の16時くらいから20時くらいまで学校が開いていて、その間に授業を受けて卒業を目指す学校です。一日あたりの勉強時間が少ないため、卒業までに四年かかってしまいますが、その点、昼は仕事ができる上、とにかく学校に通ってさえいれば卒業できるので、バイトしながらゆっくり進路を考えたいという人は合っているかもしれません。ただし、16時に終わる正社員などほぼありませんので、出来る仕事はアルバイトだと思っておいた方がいいです。

## 就職したい

あなたがどのくらい働きたいのかにもよりますが、もし正社員ではなくアルバイトを想像しているのならば定時制高校か通信制高校をお勧めします。なぜなら、アルバイトでは年をとるごとにづらくなってしまい、高校に行かなかったことのメリットが何一つ得られないからです。

高校に行かないことの最大のメリットは学習時間を仕事にあてられるということです。ならば、時間をかければ専門性が増す職人のような職業でないとメリットを十分に活かすことができないのです。建築現場の職業が中学卒業時点でもちゃんと正社員として雇ってくれる所があります。職人はきちんと人を育てるつもりで人を雇うので長く勤めていけば待遇は悪くありません。

また、プログラマーやパソコンを使って在宅でできる仕事も近頃はちらほら見かけますが、それならば、定時制高校や通信制高校に通いながらをお勧めします。

## あとがき

14歳の進路というと、多くの人が「高校に行く」と答えますが、一概に高校といっても様々な種類があります。皆さんはこれから長い人生を生活していかなければなりません。高校を出ている方が偉いかと聞かれれば、そんなことはないと答えますが、社会人の9割は高校を出ている時代です。社会の仕組みは高校を卒業していることが前提で作られているのです。先生や保護者の方は色々言ってくるかもしれませんが、最終的に進路を決めるのは現在14歳のあなたに他なりません。あなたが納得いくような進路を探してみてください。